

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

第5回定期大会発言に基づく申し入れを行う

私たちは、2017年8月6日に第5回定期大会を開催し、これまでの総括と向こう一年間の具体的方針を確立しました。

大会発言では、多くの代議員から今後の30年を見据えた「安全」「技術継承」「働きがい」など労働条件・労働環境・会社施策の根幹にかかわる内容にまで踏み込んだ発言が出されました。

その中でも特に「安全」「働きがい」については、JR 東日本グループとして最優先しなければならない課題です。

私たちは会社の将来を見据え、共に進みゆく労使として、直ちに議論を行い改善するべきと考えます。出された問題点を早急に解決し、より安全で働きがいのある職場にするために、下記の通り横浜支社に対し、8月31日に申し入れを行いました。

【 申し入れ項目 】

1. 経営協議会（安全分科）を直ちに開催すること。
2. 休日出勤ありきの勤務作成は行わないように、要員を配置すること。
3. エルダー社員制度の一部変更に伴い、再雇用までの流れにズレが生じている。今年度59歳になる対象の社員に不利益の無いように行うこと。
4. エルダー社員の雇用先によって、就労状態に大きな差がありすぎる。グループ会社内外に関わらず出向先の一覧の提示を行うこと。
5. エルダー社員制度を利用するにあたり、不安を解消できるまで面談を行い、希望先を尊重すること。また、心身的に不安を抱える社員には、体調も考慮し希望に沿うエルダー雇用先の職場を提示すること。
6. 横浜支社内で6月1日に変更された、曲線における速度制限を変更した箇所速度制限標を設置すること。
7. 南武線で6月1日に行われた曲線における速度制限を変更した22箇所について、支社が行った対策を明らかにすること。
8. 川崎駅南武線ホームは、お客さま流動の変化に伴い混雑していることから、乗降時や列車発車及び進入時のお客さまの安全確保のために、駅社員の立ち番を配置すること。
9. 横浜線町田駅スマートホームドアの故障対策及び運用について、支社が行ってきた対策を明らかにすること。
10. 川崎駅新改札開業に伴う、作業ダイヤ変更および、要員・設備についてどのように考えているのか明らかにすること。

不安のない働きやすい職場環境をつくりだそう！